

アクティブシニア「食と栄養」研究会 シンポジウム 2026

■日時：2026年3月9日（月）

■会場：鉄鋼会館 701会議室 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10
(東京メトロ東西線・日比谷線「茅場町」駅徒歩5分 [アクセス](#))

■構成：講演×3本+パネルディスカッション

フレイルの概念が社会に定着した今、専門職には全世代を見据えた新しい視点と、科学的根拠に基づいた最新の対応が求められています。本シンポジウムでは、老年医学の権威である鈴木隆雄先生を迎え、現役世代からの予防や認知機能対策など「食と栄養」の本質を問い合わせ直します。さらに、リハビリテーション栄養の第一人者・若林秀隆先生より、本年改定される最新基準（AWGS 2025）の改訂ポイントを詳しく解説いただきます。また、当研究会・協賛会員企業による最新の取り組みやサービス紹介の場も設け、日々の業務に活用できる情報を提供します。

14:00～14:10 開会挨拶・趣旨説明

14:10～14:50 講演①：アクティブシニア「食と栄養」の最新動向（基調講演）

鈴木 隆雄 先生

国立長寿医療研究センター 理事長特任補佐

高齢者栄養の枠を超え、現役世代からの継続的な予防を軸とした「全世代型アプローチ」の必要性を学びます。近年先生が取り組まれている「乳・乳製品と認知機能フレイル」の知見も交え、専門職が立ち返るべき核心をご講演いただきます。

14:55～15:35 講演②：サルコペニアとリハビリテーション栄養のアップデート

若林 秀隆 先生

東京女子医科大学病院 リハビリテーション科教授・

基幹分野長

6年ぶりの改定となるサルコペニア診断基準「AWGS 2025」の改訂ポイントと、現場への影響を解説いただきます。新基

準のもとで専門職がどのように評価・介入の視点を変えていくべきか、実践的な内容をご講演いただきます。

15:35～15:40 休憩（5分）

15:40～16:40 講演③：協賛会員各社によるアクティブシニアへの取り組み事例

株式会社カネカ様

フォーディズ株式会社

株式会社J-オイルミルズ

味の素株式会社

・1社15分程度のプレゼン形式

・発表内容イメージ：

◎取扱製品・サービス・研究成果の紹介

◎取り組みの背景（市場ニーズ・課題）

◎成果・今後の展開など

16:40～16:45 休憩（5分）

16:45～17:15 パネルディスカッション：

アクティブシニアの“食と栄養”の未来をどう創るか

パネリスト構成例：

座長 新開省二（運営委員長）／小林久峰（運営委員）

17:15～17:25 まとめ・閉会挨拶